

登録コード	SSA29604	開講年度	2026				
授業題目	特別研究（数学分野）					担当教員	中山 一昭
英文授業名	Special Research (Mathematics Division)					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					【授業の達成目標】	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP1】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観					研究論文の作成ができるようになる。	
	2 4 SSカリ・理学						
	～24SS【DP2】環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養					研究論文の作成ができるようになる。	
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力					研究論文の作成ができるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力					研究論文の作成ができるようになる。	
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力					研究論文の作成ができるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学						
	【DP2】それぞれの研究分野における高度な専門的知識と環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養					研究論文の作成ができるようになる。	
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					研究論文の作成ができるようになる。	
(2)授業の概要	文献を研究しながら修士論文の研究テーマを決定して, 研究を促進するための助言と検討を行なう。						
(3)授業のキーワード	この授業は, 在学期間の総まとめにあたるので, 数理・自然情報科学専攻のD Pのすべてが試される。また, これまでに培った「情報収集能力」「分析能力」「情報発信能力」を発揮する場でもある。						
(4)授業計画	受講者がそれまでに研究した内容を検討し, 必要な知識を補いながら, 次回までにどのような方向で研究を進めたかについて議論を行ない, 修士論文を作成する。						
(5)成績評価の方法	研究内容から評価を行なう。						
(6)成績評価の基準	秀: 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優: 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良: 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可: 授業の達成目標の水準にある 不可(D): 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可(F): 授業の達成目標の水準にない						
(7)事前事後学習の内容	特にないが, 研究の遂行および修士論文の完成に向けた不断の努力が必要である。						
(8)履修上の注意	特にないが, 研究の遂行および修士論文の完成に向けた不断の努力が必要である。						
(9)質問,相談への対応	随時対応する。						
【教科書】	受講者毎に異なる。						
【参考書】	受講者毎に異なる。						